

## 第526回番組審議会報告

開催日 : 令和6年4月24日(水)  
場所 : 山形グランドホテル  
出席委員 : 柳谷豊彦 委員長/相馬佳苗 副委員長/中川愛美 委員/堀内史子 委員  
齋藤義紀 委員/兼田徳幸 委員/阿部則裕 委員/中村出 委員  
(リポート参加) 佐藤善哉 委員

議事内容 : ◎正副委員長の選任

◎社側報告

1.挨拶 横沢代表取締役社長

◎審議事項

1.番組・視聴率関連 黒須 取締役編成業務局長兼番組審議会事務局長

2.報道・制作関連 後藤 取締役メディア情報局長

3.番組合評

◇山形いちまる「山形熱中人 令和ノスタルジーを求めて」

令和6年4月10日(水) 19:00~19:54 放送

担当:メディア情報局メディア情報センター長 工藤 良一

◎その他

内容:

山形テレビの第526回番組審議会が開かれ、4月10日放送の山形いちまる「山形熱中人 令和ノスタルジーを求めて」を合評しました。番組は、古き良きアナログ時代の文化や技術、グッズなどに熱中している「山形熱中人」を取り上げ、令和の時代だからこそ輝く「人」を訪ねました。本業の傍ら、庄内の魅力に取りつかれ、地元の人との町おこしに取り組む女性や、通称“ガリ版”で作られた貴重な印刷資料をコレクションする男性、そしてニッチな文房具を収集、販売する女性たちを、タレント、彫刻家としての顔も持つ片桐仁さんと、ソプラノ歌手のだこころさんらが紹介しました。

委員からは、

「山形のことを学ぶことができ、家族で楽しく見ることができた」

「それぞれの取り組みにこだわり、誇りを持っている山形の人、4人に焦点を当てていて面白かった」

「片桐仁さんが、取材対象のものをよく観察し、無駄なく分かりやすいコメントをするなど、現場でのコミュニケーション能力の高は発揮していた。これにより面白く見ることができた」

「片桐仁さんがエンディングで提案したような熱中人フェスの実現を楽しみにしたくなるような番組だった」

「熱中人のその分野に興味を持つようになった背景など、パーソナリティーの部分にもう少し踏みこめるともっとフカボリできたのではないかな」

「熱中人に焦点を当てすぎ、地域や地域の人とのかかわりが見えなくて残念」

「タイトルの山形熱中人は単純明快で分かりやすかったが、サブタイトルの令和ノスタルジーに違和感があった」などの意見がだされました。

また、正副委員長の選任が行われ、柳谷豊彦 委員長、相馬佳苗 副委員長が再任されました。

以上